

政策2 教育・文化 ～健やかで豊かな心が育つ～

◆未来に輝く長浜人育成事業

56万円

重点

若者の「ふるさと回帰」を目的に、長浜市内の高校に通う高校生に長浜の歴史・文化・産業そして「人」の魅力を伝え、長浜市を誇りに思い、地域や産業を担う「長浜人」を育むための事業を行いました。



◆虎姫地域小中一貫教育校開設準備

2,150万円

虎姫地域小中一貫教育校開設準備協議会において、校名および校章の検討を行いました。校名は「虎姫学園」と決定し、令和2年4月の開校に向けて現在、渡り廊下の新設など改修工事を含め準備を進めています。



◆理系人材育成事業「長浜学びの実験室」

676万円

自然科学の楽しさを子どもたちに伝え、将来の理系人材を育むため、長浜バイオ大学と連携し、大学内の「長浜学びの実験室」において市内小中学生の理科学習を実施しました。



◆スポーツ夢チャレンジ

817万円

スポーツを通じて子どもたちが夢や希望を抱くことができるよう、元プロ野球選手の仁志敏久氏による野球教室や指導者向け講演会、男子100m競走の元日本記録保持者の青戸慎司氏による子ども向け陸上教室を開催しました。



政策3 健康・福祉 ～いきいきと温かく生きる～

◆多子世帯保育料負担軽減事業

2億4,282万円

子どもたちを育む世帯を応援するため、子の年齢や保護者の年収に関係なく、第2子半額、第3子以降無償化を実施し、子育て家庭の経済的負担を軽減しました。



◆市民で支える小学校給食費補助事業

2億5,627万円

子どもたちの健やかな成長を市民全体で支えるため、小学校の給食費を補助しました。感謝の気持ちと支え合う協働の仕組みを子どもたちが学び理解することで、市の将来を担う人材の育成を図っています。



◆子育て応援アプリ運営事業

348万円

「子育て応援アプリ」ながまるキッズ!」で、子育てに関する情報をお届けしています。平成30年6月からは「パパママ・リフレッシュ託児」の予約もらくらく簡単にできるようになりました。

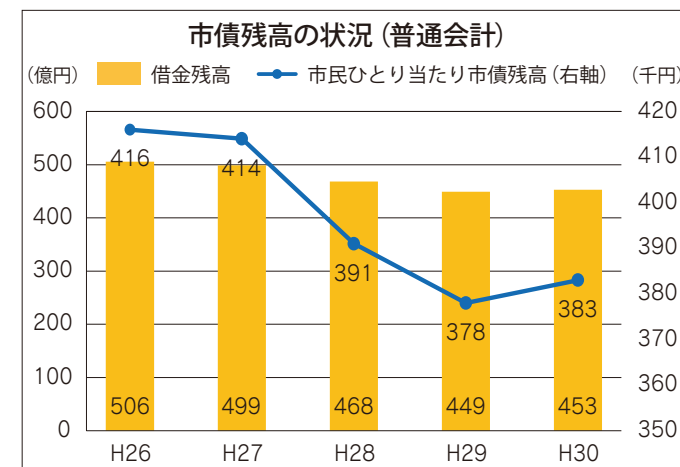


健全な財政運営と今後の課題

平成30年度末の本市の借金(市債)残高は、大型建設事業など投資的経費が大幅に増加し12年ぶりに増加に転じましたが、計画的に繰り上げて償還(返済)することで、財政計画に掲げる額を下回るなど、微増に抑えることができました。

財政の健全性の指標とされている健全化判断比率(借金返済や借入額が多すぎないかなど)等の基準をクリアしており、平成30年度決算は健全な財政運営ができています。

主な財源である地方交付税や国・県補助金の縮減が進む中、今後さらに決算規模の縮小が必要です。限られた財源を効率的に運用し健全な財政運営を行えるよう、効果的な予算編成を行っていきます。



(※)長浜市の財政状況について詳しくは市ホームページをご覧ください。



平成30年度はこんなことに取り組みました

重点

長浜市総合計画に掲げる「新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜」の実現を先導するため、重点的・戦略的に取り組む「重点プロジェクト」です。

政策1 市民・自治 ～市民とともに創る～

◆首都圏との連携推進

2,937万円

重点

首都圏における長浜応援チーム「東京ー長浜リレーションズ」を立ち上げ、長浜の情報発信や課題解決の提案を行いました。また、東京・上野の「びわ湖長浜 KANNON HOUSE」や長浜歴史文化講座、台東区のイベントへの出展などにより長浜をPRしました。



◆高校生Challenge & Creation

プロジェクト事業 50万円

重点

若者の「ふるさと回帰」を目的に、高校生が地元の良さに気づき、市民、大学、企業などつながりを持ちながら、まちづくりを学ぶ機会を提供し、地元で暮らすことの楽しさを伝えました。



◆長浜女性活躍都市推進事業

203万円

重点

参加者相互の交流や課題解決に向けた議論を行う長浜女性会議を開催しました。また、起業したい女性を対象に、キャリアアップのための学びの場などを提供するジョブカフェ事業を実施する中で、女性活躍の推進を図りました。



◆地域共生社会推進支援事業

709万円

重点

住民が主体的に実施する、地域生活でのさまざまな課題の把握や解決に向けた活動を促進するため、モデル地区を中心に、話し合いの場や参加・交流の機会の創出の取組を支援しました。

